

# スポーツを通じた若者が集う地域づくり事業

－No.9 加須市－

## 【事業の目的】

「スポーツを通じた若者が集う地域づくり」を推進する加須市では、シティプロモーションという要素も加えながら、市内外からより多くの若者が集い、競い合い、交流を深め、人の流れを呼び込むことで、交流人口を増やすとともに本市を知ってもらい、地域の活性化を図ることを目的としています。

## 【事業の内容】

本市が「聖地」といわれるスポーツクライミングや女子硬式野球の振興をはじめ、マラソン、駅伝、トライアスロン及び自転車競技などの全国規模の大会を誘致・開催するとともに、ローラースポーツの拠点づくりや、旧騎西高校跡地をスポーツ活動の拠点として活用するなど、各種スポーツを推進しています。

## 【事業年度】

平成27年度～平成31年度（5か年）

※加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略における計画期間

## 【予算額(千円)】

25,784千円（平成30年度）

## 【財源】

一般財源（市）、各大会の参加費等

## 【事業実施に至った背景・経緯】

本市では、スポーツクライミングや女子硬式野球をはじめとするスポーツを通じた地域づくりをより一層推進するため、平成28年2月に策定した「加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標のひとつである「新しいひとの流れをつくる」のプロジェクトとして「スポーツを通じた若者が集う地域づくり」を推進することとしたものです。

## 【事業のPRポイント】

### ○ スポーツクライミングの振興

加須市民体育館に全国唯一の屋内4面のクライミングウォールを有し、リード、ボルダリングのワールドカップが共に行われた唯一の場所であり、このほかにも、ジャパンカップ、ジュニアオリンピック、全国高等学校選抜クライミング選手権大会など、数々の主要な国内・国際大会を誘致・開催するなど、クライミングの振興に取り組んでいます。

### ○ 女子硬式野球の振興

女子硬式野球ユース大会の発祥の地として、毎年夏にユース世代の日本一を競う選手権大会や、春に全国高等学校女子硬式野球選抜大会が開催されています。また、本年3月にリニューアルした「加須きずなスタジアム」において今後これらの大会を開催するなど、女子硬式野球の振興に取り組んでいます。

### ○ マラソン、駅伝、トライアスロン、自転車競技の振興

加須こいのぼりマラソン大会やふじの里駅伝大会を開催するとともに、国体の予選を兼ねるトライアスロン大会、自転車タイム・トライアル・ロードレース大会など、関東・全国規模の大会を誘致・開催し、多くの若者が全国から訪れています。

### ○ ローラースポーツの普及促進

スケートボードが2020年東京オリンピック競技に決定するなど、若者に人気のあるローラースポーツの拠点づくりとして、埼玉県と連携し整備を進めている加須IC東地区産業団地内の公園にスケートパークを整備し、ローラースポーツの普及促進を図るものです。

### ○ 旧騎西高校跡地のサッカー施設としての活用

旧騎西高校跡地をスポーツ活動の拠点とするため、埼玉県及び埼玉県サッカー協会と連携し取り組んでいます。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

○ 平成30年9月、コロンビア女子ラグビーチーム外交団が加須市においてスポーツ・文化など様々な交流を行います。

○ 数々の国内大会等の開催により、多くの選手や観客が本市を訪れ、クライミング競技や女子硬式野球の「聖地」として広く認知されています。

○ 2020年東京オリンピック・パラリンピックをスポーツの普及振興の絶好の機会と捉え、スポーツを通じた若者が集う地域づくりを推進し、スポーツを活用した地域活性化に取り組んでいきます。

## 【参考資料】

競技イメージ



〔 連絡先 〕

スポーツ振興課 0480(62)6123